

## 果樹園（ナシ、カキ、リンゴ、ブドウ等）への カメムシ類の飛来に注意しましょう！

茨城県病害虫防除所では、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ等の予察灯への総誘殺数が平年より多いことから、**病害虫発生予察注意報第3号** ([tyuuihour06-3.pdf](http://tyuuihour06-3.pdf) ([pref.ibaraki.jp](http://pref.ibaraki.jp))) を発表し引き続き果樹園内への飛来について注意喚起しています。



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ



クサギカメムシ

(写真：病害虫防除所)

### 防除対策

- ① 多目的防災網（目合い6mm または9mm クロス等のネット）はカメムシ類の園内への侵入を防ぐため、被害軽減に有効である。
- ② カメムシ類は夜温が高くなると活動が活発になり、果樹園に飛来する。果樹園内でカメムシ類を確認した場合は、表1を参考に活動の鈍い早朝に薬剤防除を行う。
- ③ 有機リン系（表1：分類1B）およびピレスロイド系薬剤（表1：分類3A）は、カメムシ類に対して効果が高いが、土着の天敵類（チリカブリダニなど）に及ぼす影響も大きく、ハダニ類やカイガラムシ類の多発生を招くおそれがあるので注意する。
- ④ カメムシ類の発生時期や発生量は地域や圃場によって大きく異なるため、定期的に圃場全体を観察し、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。

表1 果樹カメムシ類の主な防除薬剤

（令和6年7月18日現在）

薬剤名	ナシ	カキ	ブドウ 注1	リンゴ	分類 注2
スミチオン水和剤 40	無袋：800～1,000倍 21日前まで／6回以内 有袋：800～1,000倍 14日前まで／6回以内	800～1,000倍 30日前まで／3回以内		800～1,000倍 30日前まで／3回以内 (リンゴの旭種とその近縁種では 薬害が発生のおそれがある)	1B
キラップフロアブル		2,000倍 7日前まで／2回以内		2,000倍 14日前まで／2回以内	2B
スカウトフロアブル	1,500倍 前日まで／5回以内	1,500倍 7日前まで／5回以内		1,500～2,000倍 前日まで／5回以内	3A
テルスターフロアブル	3,000～6,000倍 前日まで／2回以内	3,000～6,000倍 3日前まで／2回以内		3,000倍 前日まで／1回	
ロディー水和剤	1,000倍 前日まで／2回以内	1,500倍 7日前まで／3回以内		1,000～1,500倍 前日まで／2回以内	4A
アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍 前日まで／3回以内	2,000倍 3日前まで／3回以内		2,000倍 7日前まで／2回以内	
スタークル顆粒水溶剤	2,000倍 前日まで／3回以内	2,000倍 前日まで／3回以内	2,000倍 前日まで／3回以内	2,000倍 前日まで／3回以内	
ダントツ水溶剤	2,000～4,000倍 前日まで／3回以内	2,000～4,000倍 7日前まで／3回以内	2,000～4,000倍 前日まで／3回以内	2,000～4,000倍 前日まで／3回以内	
バリアード顆粒水和剤	2,000倍 前日まで／3回以内			2,000倍 前日まで／3回以内	28
テッパン液剤 注3	2,000倍 前日まで／2回以内	2,000倍 前日まで／2回以内	2,000倍 前日まで／2回以内	2,000倍 前日まで／2回以内	

注1) ブドウでは、果粉溶脱の恐れがありますので、薬剤使用上の注意事項などを必ず確認してください。

注2) 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

注3) テッパン液剤は、多発生時に使用する場合、効果が劣ることがあるので注意する。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。